2015 年度 第 2 回 理事会議事録

日　時：2015 年 10 月 20 日（火）10：30～17：00
場　所：エッサム神田ホール 301　東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

Ⅰ．開会
Ⅱ．会長挨拶　墓じまいの速度が加速している。神戸にて残忍な事件をおこした犯人でさえ墓参りについて語っている。我々はもっと気を引き締めいていかなければならないと思う。
定款確認
Ⅲ．議事
　１.議長選出：井口功副会長　　議事録作成人：事務局　中村早苗
　２.定足数確認
　　理事：出席名　56/83 名中　　監事：出席 2 名（3 名中）
　　顧問：２名　事務局：３名　ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ　１名　　合計：６４名
　３.議事録署名人の指名：　代表理事：湯口喜代志　　監事：　伯井　守
　４.資料及び議案の確認、新議題の採択　特になし　前回議事録の確認
　　第 1 回理事会議事録　第 1 回常任理事会議事録　第 4 回正副議事録

【審議事項】

（1）入退会者について（入会２名 / 退会名）　大代専務　審議　資料　P1

入会：　３名　**全会一致にて承認**
退会：　２名　**全会一致にて承認**

（2）【役員管理】次期会長候補者及び今後のスケジュールについて　太田委員長　審議　資料　P5

次期会長承認の件　**拍手をもって全会一致にて承認**

射場：次期の目標はお墓をもう一度人々が欲しがるものとしたい。石の魅力を発信する。石産協のコミュニティをつくるという３点である。私の自分一人では限りがある。理事の皆さまの力強い力添えを頼みます。

（3）【広報】お墓の窓口第３フェーズと石産協 HP について　上野委員長　審議　資料　P9

上野：広報委員会としてはお墓の窓口を【お墓】というキーワードでトップに上げたい。74%がお墓の窓口サイトに入ってすぐにサイトを出てしまう。お墓の正しい情報を伝えるサイトである。第３フェーズは H27.10 月から H28 年 4 月までに認知のさらなる向上（アクセスの増加）石材店への顧客誘導をしていきたい。更新は昨年のままなので頻繁に更新していきたいと思う。QA の充実、ﾂｲｯﾀｰ・ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸで拡散させる。石材店への顧客誘導としてバナーの貼付・HP へのリンク月額 300 円で半年契約を考えている。
佐野：HP リンクを設置し、お金を払った場合は上位に載せられるのか？
上野：そこまでは考えていないが難しいと思う。【おはまどトピックス】→　【墓まどトピックス】に変更する。
⇒全会一致にて承認

（4）【お墓Ｄ】HP リニューアルについて　中村委員長　審議　資料 P22

中村：お墓ディレクターの HP デザインの統一。お墓ディレクター1 級で大代専務の相談の負担を減らしたい。目的はお墓ディレクターと一般生活者の距離を縮める。
小柴：バナー広告をどんどん出してはどうか。
中村：お墓ディレクター資格は個人の資格であり会社の資格ではないので難しい面がある。会員のメリットを上げていきたい。
谷本：全建石ともリンクしたほうがよいと思う。
中村：全建石のリンクは石産協の HP とリンクしたほうがよいと思う。上野広報委員長と相談したいと思う。
⇒反対０名　白票２名　賛成多数にて承認。

（5）【定款】支部運営規定について　白木副会長　審議　資料　P25

白木：準会員の廃止に伴い支部運営規定の見直し。特別会員の扱いをどのようにするのか？現在、特別会員はいないが他団体が加入を希望した場合（例えば仏教会など）に特別会員となり、支部には所属しない。会費はかからない。2016 年 4 月各支部総会にて審議となる。
前迫：特別会員の定義はどのようになっているのか？
白木：定款の特別会員については会の目的に賛同し、学識、技芸において本会に貢献する法人及び個人（石材業に関係する人）
前迫：特別会員の基準をもう少し詳しい記載が必要だと思う。過去に特別会員がいないならば特別会員が必要なの

か検討していただきたい。
越智：第 10 条　顧問・相談役は会員の中から選ぶのか？
白木：本部に相談の上だが外部からでも大丈夫。業界関係者。前例がないので本部に相談していただきたい。
望月：参考までに、日本石材協会の時の特別会員は火薬、重機の企業になっていただき、採石等の重機等について説明をしてもらうための特別会員になってもらった。会の運営にプラスになるために特別会員は必要だと思う。
射場：定款諸規則で疑問の残らない定款諸規則を作成していきたいと思う。

白木：支部には特別会員の定義はない。本部では必要だが、支部には必要がないかと思う。第 10 条、顧問・相談役は支部の判断にておくことができる。支部においても顧問・相談役は会員であっても無くとも良いと思う。
戸部：支部の顧問・相談役については、通常の運用の仕方とすると、長年支部に貢献していた方を相談役、顧問に遇するというのが運用としてはありうる。税理士、弁護士等は委託関係なので役員ということではないということを誤解のないようにしてほしい。
前迫：議員を顧問とすると行政に話が通りやすい場合がある。学識経験者をどこまで範囲とするのかの解釈を明確にしたい。
戸部：議員というだけでは、定款上の顧問として該当しない。なるのであれば特別会員であると思う。
一つの企業から 1 名は顧問、1 名は役員とするのは可能だと思う。支部の中で政治家を顧問とすることは、本部の定款の中には書かれていないので、支部独自の活動で行うというのは難しいと思う。顧問という名称を使わず、支援者という何らかの名称を支部で与えて嘱託する。
白木：ケースバイケースでいろいろある。事業の目的によってそれぞれ検討していく方が良いのではないか？
会長：支部内部での顧問、相談役の任命は全く問題ないと思う。議員については正副では議論尽くせていないので外部に関しては正副でもう少し検討したいと思う。
⇒反対０　白票：１　賛成多数により可決。

【協議事項】

（1）【定款】業務災害補償保険制度・会員被災状況の確認書について　白木副会長　協議　資料　P30

白木：石産協は中央会に加入しているので団体扱いとなる。3 社に提案をもらい損保ジャパンに一番メリットがあると感じた。
損保Ｊジャパン:全国中小企業団体中央会を契約者としている団体保険。傷害保険と使用者賠償保障のセット保険。使用者賠償は通常政府労災部分で収まるかと思うが、現在労働者側の判決が出ていることから賠償保障もセットしている。保険料は建設業と建設業以外で構成している。経営者の立場にあった保障となっている。
白木：12 月の常任理事会にて審議後、来年１月にパンフレット送付の予定をしている。
加藤：アルバイトの補償について教えてほしい。
損保：建設業の繁忙期のアルバイトについても保障の対象となる。販売店はオプション。
⇒常任理事会にて審議

会員被災状況の確認書について　白木副会長　協議　資料　P31

白木：全会員への被災時の確認をＦＡＸにて状況を確認する。支部長にはフォローをお願いしたい。
水野：被災して FAX を受け取ることができるのか？
白木：届かないということが判断基準のひとつとなる。
飯島：支部では被災時に会員に連絡が難しい。
斎藤：見舞金を設定すれば申告するのではないか？
⇒次回審議

【報告・依頼事項】

（1）【北海道地区】幸フクロウ運動について　越智地区長　報告　資料　P32

越智：６回目となる幸フクロウ。施設の子どもたちにエールを送る。スムーズに事業は進んでいる。

（2）【山形県支部】親と子の供養フェスタ in 米沢（12/6）　岩﨑支部長　報告　資料　P33

大代：事業収入：相談室 8 万円と会長決算による 3 万 5 千円・山形県支部会計よりの支出で事業を行う。

（3）【奈良県支部】石灯りの小径 決算報告について　大石支部長　報告　資料　追加 P

大石：奈良の夏の風物詩へ３回目の参加となる。庵治石あかりロードと開催が重なり、レンタル数が減ってしまったが、会員の協力により何とか成功することができた。次回も石あかりのレンタルの協力をお願いしたい。

(4) 【採石・加工・関連】第 5 回加工講習会 決算報告について　友常部会長　報告　資料 P35

坂口：第 1 部の勉強会では東西の石工の職人のこだわりと題して、原石の選び方、研磨の仕方を話した。第 2 部ではガラスビーズを使った加工補修テクニック。引き続き開催をしていきたいと思う。
事業報告書決算額 334,235 円に修正。

(5) 【関連】ミニ展示会（東西）開催について　竹ノ内部会長　報告　資料 P37

竹ノ内：来年の 2 月に関東にて展示会を予定している。

(6) 【関連】MORE BOOK2015 について　竹ノ内部会長　報告　資料 P38

竹ノ内：若干、残があるのでここに送ってはというところがあれば教えてほしい。2.3 年に一回は更新したい。

(7) 【広報】カレンダー作成延期について　上野委員長　報告　資料 P40

上野：来年のカレンダーの発注に間に合うように、作成を延期します。

(8) 【広報】石工男子　進捗状況について　上野委員長　報告　資料 P41

上野：全員エントリー。一般の方が見てわかるようにしたい。産経デジタルに協力をお願いしている。写真集は作らない。コストをかけずに進めていく。

(9) 【広報】エンディング産業展 2015 について　上野委員長　報告　資料 P42

上野：石博にて大変評判の良かった[石のサイエンスを展示]。石材の提供をお願いしたい。

(10) 【広報】Pray for (one)について　上野委員長　報告　資料 P47

上野：葬儀場にて祈り鶴を棺にいれる。ピンクリボン運動からも依頼。展開が広がったと思う。

(11) 【社会調査】お墓なんでも相談室　経産省後援について　柴田委員長　報告　資料 P49

福川：毎年 9 月に申請をしていたが、経産省より 4 月から申請を行うように指導された。

(12) 【次世代】岡崎ストーンフェア若手を中心とした懇親会後援について　山口委員長　報告　資料 P50

山口：会員拡大につなげていきたい。

(13) 【次世代】若手石材人 MAGAZINE (NEWS) 発行について　山口委員長　報告　資料 P52

山口：青年部との交流を報告・次回開催の告知を目的。

(14) 【次世代】全国青年石材人研修・交流事業 in 茨城について　山口委員長　報告　資料 P53

山口：茨城ストーンフェスにて研修交流会を行う。

(15) 【定款】議案上程マニュアル・役員担当マニュアルについて　白木副会長　報告　資料 P5

白木：大代：資料にあるように順を守り資料提出をお願いしたい。

(16) 【事務局より】補正予算書の作成　大代専務　報告　資料 P63

大代：変動額表に則り予算の変更があったら提出をする。

(17) 【事務局より】会費未納者について　大代専務　報告　資料 P69

大代：３社入金有（㈲石崎石材工業・㈱トーセキ・㈲高谷石材）　現在 39 万円会費未収

(18) 【事務局より】第 6 回定時総会参加者数_地区支部別について　大代専務　報告　資料 P70

大代：第 6 回定時総会参加者数資料のとおり報告する。

次回総会 2016 年 6 月 16 日（木）神奈川県横浜市：赤レンガ倉庫に決定

(19) 消費者機構日本への請負契約書提供、暮しの手帖・農業新聞記事掲載　大代専務　報告　資料 P71

大代：各表示の通り

(20) いばらきストーンフェスティバル名義後援について　飯島支部長　報告　資料 75

飯島：ストーンフェスティバルは茨城支部も協力している。相談室を行う。次世代委員会も協力していただく。

(21) 滋賀県石材協同組合 40 周年記念誌への広告出稿について　大代専務　報告　資料 P76

大代：広告「石を愛するコミュニティ」を作成。

(22) 国際技能協議会報告（香川県　岡本石材より）　坂本支部長　報告　資料 P78

坂本:次第～協議⇒競技に訂正。入賞にはならなかったがあと数点であった。競技でかライムストーンを使用した。

(23) 中国四国地区全体会議について　清水支部長　報告　資料 P79

清水：中四国参加の程よろしくお願いします。

(24) 糸島市消費生活センター講座への講師派遣について　大代専務　報告　資料 P82

大代：国松石材の国松良康氏と社員を派遣した。

(25) 東京都石材業政治連盟（仮称）準備委員会について　井口直前　報告　資料 P83

井口直前：３団体の霊園問題研究会が都議とのパイプ作りを行っている。東京の約 600 社が対象。費用については東京都に限っているので、支部総会を経て東京都支部会費で賄っていけたらと思う。

(26) 新国立競技場建設に関する要望書について　会長　報告　資料 P87

射場：要望書を明日、経産省に提出。

（27）東京都内会議室料金比較表	会長	報告	資料 P88

射場：安い会場は競争率が高く取にくい状況である。皆さまの意見も無いようなので、安い会場でお願いしたい。

（28）仏教会「台風 18 号救援基金」について	大代専務	報告	資料 P89

大代：台風 18 号救援基金として 1 万円を拠出した。

（29）年間スケジュールについて	大代専務	報告	資料別添 A3

【討議事項】

（1）一般社団法人日本石材産業協会について（グループディスカッション）	討議

会長：テーマは 10 年後の石産協に向けて議論したいと思う。

上野：時間が本日は足りないのでパルス討論のやり方について説明。

【今回は石産協を徹底的にほめる。】というテーマだった。次回パルス討論を行いたいと思う。

Ⅳ．監事講評

伯井：審議では大変熱心な議論がなされた。次回へ発展的な解決をしていただければと思う。報告事項では支部が今抱えている問題、あるいは課題が抽出され、それが全体として個々では解決しない問題を石産協が収拾し、石産協の意義が明確になっているように思える。

Ⅴ．閉会

2015 年 10 月 20 日

議事録署名人　：　湯口喜代志　㊞

議事録署名人　：　伯井　守　㊞

議　　長　：　井口　功

議事録作成人　：　事務局　中村早苗